

鍛冶谷・新田口遺跡第 13 次発掘調査概要

1 調査期間 令和 7 年 10 月 1 日（水）から 10 月 22 日（水）

2 調査地 戸田市上戸田 5-27-14 の一部

3 調査対象面積 89 m²

4 調査主体 戸田市教育委員会

5 調査担当者 生涯学習課 主事 今井 源吾

6 検出された遺構

周溝状遺構 3 基 弥生時代後期～古墳時代前期

溝状遺構 5 条 弥生時代後期～古墳時代前期

井戸跡 1 基 古墳時代前期

土坑 2 基 弥生時代後期～古墳時代前期

ピット 1 基 弥生時代後期～古墳時代前期

検出された遺物

土師器（古墳時代前期）

7 内容

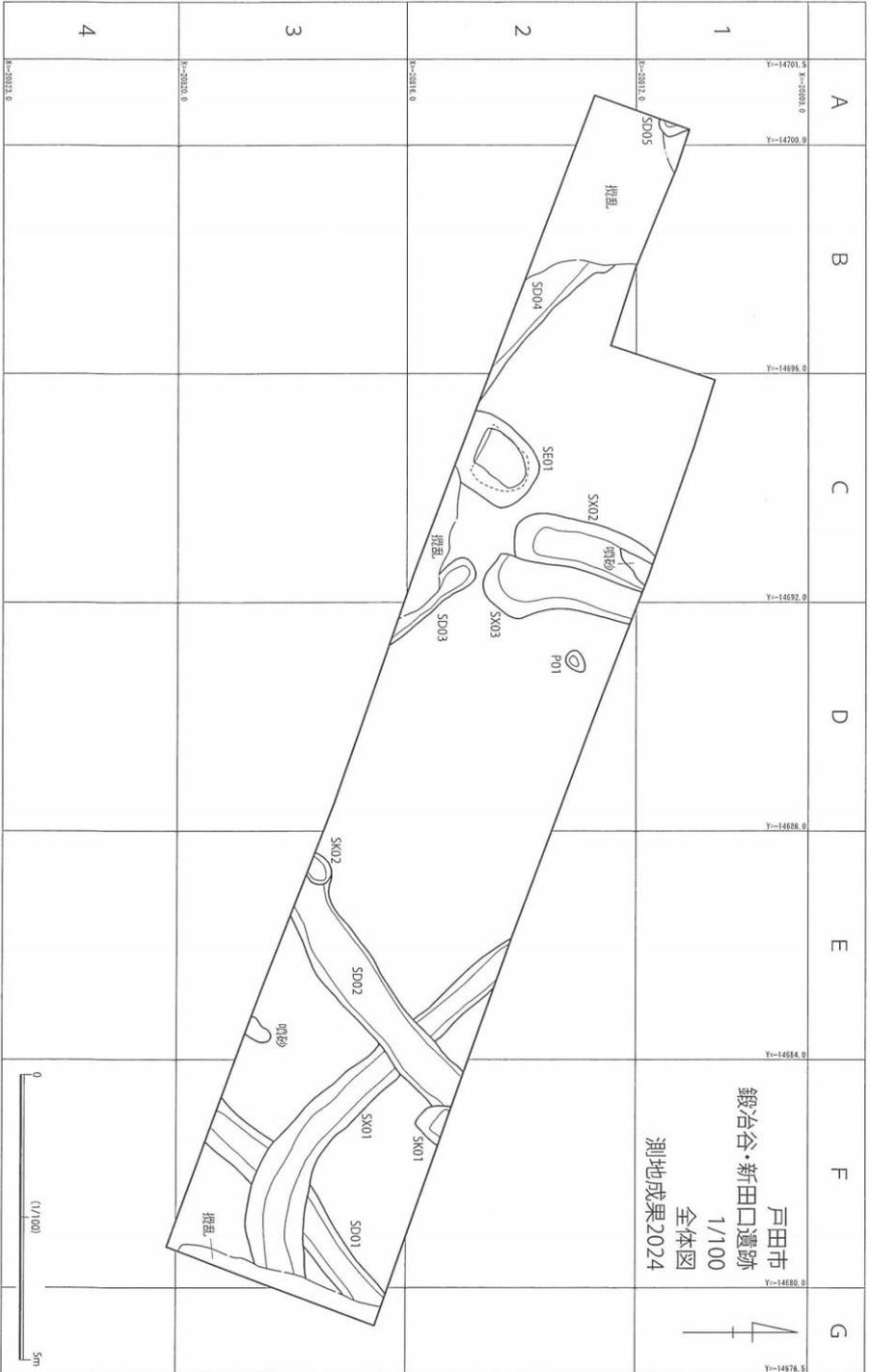
鍛冶谷・新田口遺跡第 13 次調査は、第 5 次調査の南側、10 次調査の北側に位置する。弥生時代後期～古墳時代前期の周溝状遺構、溝状遺構が検出され当時の集落範囲であることが判明した。また古墳時代前期の井戸跡の底付近からは比較的まとまった土師器の壺が出土している。



調査区全景東側から



調査区遠景北側から



調査区 平面図